

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～27℃台を示し、やや高め～かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり36kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり960kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり189kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり180kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり96kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/25～10/29の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸～岩手県久慈沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、島根半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-23号 五島灘・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>